

ものづくりの生産管理手法を農業に生かす

（熊本部品株式会社）

<法人の概要>

所在地：熊本県天草市

設立：平成2年6月

資本金：1,000万円

経営面積：7.4ha 営農作物：ベビーリーフ

農業開始時期：平成23年4月



品質にこだわり整然と管理された栽培現場



パック詰めされたベビーリーフ

<農業参入に至った経緯・動機>

熊本部品は、最先端技術を駆使して世界一のワイヤーハーネス（自動車用組電線）を生産しているが、近年、ワイヤーハーネス生産の海外シフトにより、当社の生産高が減少傾向にあった。

こうした中、当社は地域密着型企业として地域の雇用を維持・確保するため、新規事業を模索した結果、青果等と比べて栽培期間が短く、年間を通して栽培できるベビーリーフの生産・加工に参入することになった。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

農地については、天草市新和支所の協力により70aを確保し、平成23年2月の農業委員会の許可を経て、17棟のハウスを設置した。

ベビーリーフの栽培にあたっては、熊本市の（株）果実堂の全面的な技術指導により生産が可能となった。

ハウスの設置や機械の導入にあたっては、熊本県及び天草市からの補助金を活用した。

<営農開始から現在まで>

栽培したベビーリーフは、全量を果実堂ブランドで出荷しており、南は鹿児島から北は関東圏まで販路を広げている。

当初からミズナやルッコラなど8種類を栽培しているが、平成23年度には天草市と京都大学が連携して行う、経営ノウハウを有する市外企業と地元の新規事業をつなげる二地域就労プロジェクトを活用して、グランドリーフという新種の栽培にも取り組んだ。

<今後の農業経営の展開方向>

ハウスは平成22年度が70aに17棟、平成23年度が160aに32棟を設置した。

将来的には規模拡大とともに農業関連作業に従事する者を増やし、地元雇用を維持・確保することで天草の活性化に寄与したいと考えている。

<今後農業に参入しようとする法人に対するアドバイス>

農業参入を決めてから最初の農地を借りるまでには少々苦労があったが、2年目に圃場を拡大する際は、農家の方が「隣のほうが便利がよいでしょう。真面目に取り組んでおられるから」とおっしゃり、ご自身が他所に移り、隣接する農地を貸していただいた。企業が農業参入する際は、地域の皆さんに信頼していただけるよう、真摯に取り組むことが重要であると考えている。



加工施設の様子



栽培工程を示したパネル